

1 社会貢献活動支援士 課程 (Social Service Activity Support Specialist Course)

社会貢献活動支援士とは、防災・減災、社会貢献や環境の専門的知識と能力を身につけ、災害やボランティアの現場でリーダーシップを取り活動することができる人材であることを認定する資格である。社会貢献活動支援士課程では、「社会貢献活動支援士」資格取得のため、専門知識のみならず、実習・演習を通じて、即戦力として、社会に貢献するマインドと能力を持ち、また、自らテーマを設定し、プロジェクトを立ち上げ、それを実行していく人間力を持つ人材を育成・輩出することを目的とする。

本課程の科目は、東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学が3大学連携に関する協定書に基づき、提供される。3大学により提供される必修・選択科目は、遠隔システムにより3大学同時に受講することができる連携共同科目と、実習・演習のように各大学内で行われる実習科目、夏期・冬期休暇を利用して各大学で行われる集中講義の科目により構成される。

社会貢献活動支援士資格はカリキュラムに定められた必修科目及び選択科目の履修を要件とする。必要単位を修得した者には認定試験の受験資格が与えられ、社会貢献学会が実施する認定試験合格後、社会貢献学会により「社会貢献活動支援士資格証明書」を発行する。

履修に関しての詳細は、TKK3 大学連携プロジェクトのホームページを参照すること。なお、随時掲示板による指示等に注意してほしい。社会貢献活動支援士に関する相談等は、TKK 助け合い連携センター、教務部八王子教務課・新宿教務課に問い合わせること。

TKK3 大学連携プロジェクト <https://www.kobegakuin.ac.jp/~tkk/>

TKK3 大学連携授業カリキュラム <https://www.kobegakuin.ac.jp/~tkk/curriculum/>

(1) 社会貢献活動支援士課程の登録

社会貢献活動支援士課程の履修にあたっては、課程登録を必要とする。登録は何年次でもできる。

(2) 資格取得のための単位の履修について

専門カリキュラムの所定科目を履修することで、「社会貢献活動支援士」受験資格を得ることができる。さらに検定試験に合格した者に対して「社会貢献活動支援士」を認定する。

受験資格取得のためには、必修科目（社会貢献学入門）に加え、自身の大学の科目を4単位(2科目)以上、他の2大学の科目をそれぞれ4単位(2科目)以上、合計12単位(6科目)とする。「関連実習科目」として、共通実習科目あるいは各大学で開講される本カリキュラムと関連した実習・演習科目を4単位(2科目)以上履修すること。なお、ここで履修した他大学科目について「表：単位算入について」に示すように、工学部建築系学科(2009年度以降入学生)と建築学部のみ自由枠に算入される。建築学部以外の他学部・他学科の学生は、他大学の受講する事で社会貢献支援士の受験資格は付与されるが、自由枠に参入されない。本学提供科目については、学生便覧の工学部建築系学科、建築学部に記載されている内容に従う。

工学院大学担当科目	4 単位以上(2 科目以上)
東北福祉大学担当科目	4 単位以上(2 科目以上)
神戸学院大学担当科目	4 単位以上(2 科目以上)
共通実習及びその他演習実習科目	4 単位以上(2 科目以上)

表 科目名、提供大学、提供開始年度について

提供大学	科目名	単位	提供開始年度
3 大学共同	社会貢献学入門	2	2010 年度
東北福祉大学	社会調査法	2	2010 年度
	NPO 論	2	2010 年度
	地域減災論 I	2	2010 年度
	地域減災論 II	2	2010 年度
	災害福祉論 I	2	2010 年度
	災害福祉論 II	2	2010 年度
	救急処置法	2	2010 年度
	ボランティア活動論	2	2010 年度
	ボランティア論	2	2014 年度
	環境福祉論	2	2010 年度
	地域減災論/実践的防災学	2	2023 年度
工学院大学	地震・複合災害工学	2	2023 年度
	建築の安全	2	2013 年度
	災害復興論	2	2020 年度
	地域の安全	2	2013 年度
	構造材料施工	2	2013 年度
	地域住環境計画	2	2013 年度
神戸学院大学	防災行政学	2	2010 年度
	社会防災の基礎 I	2	2015 年度
	防災行政学	2	2010 年度
	災害分析の基礎	2	2016 年度
	減災学	2	2017 年度
	ボランティア論 I	2	2016 年度
	社会防災特別講義 II	2	2015 年度
	環境政策政策ビジネス研究	2	2016 年度
	国際情勢論	2	2010 年度
	開発教育学	2	2010 年度
	国際協力論 I	2	2010 年度
	社会防災特別講義IV	2	2015 年度

※各大学の学年暦や履修者数の関係で、2022 年度に遠隔システムによる配信を行わない科目もあります。

表 実習科目について

提供大学	科目名	単位	備考(提供開始年度)
東北福祉大学	福祉ボランティア活動Ⅰ (地域貢献活動も含む)	2	共通実習(2010年度)
	福祉ボランティア活動Ⅱ (地域貢献活動も含む)	2	共通実習(2010年度)
	福祉ボランティア活動Ⅲ (地域貢献活動も含む)	2	共通実習(2010年度)
	福祉ボランティア活動Ⅳ (地域貢献活動も含む)	2	共通実習(2010年度)
	減災・予防福祉演習Ⅰ	2	実施大学のみ(2010年度)
	減災・予防福祉演習Ⅱ	2	実施大学のみ(2010年度)
	減災・予防福祉演習Ⅲ	2	実施大学のみ(2010年度)
工学院大学	建築情報処理Ⅱ	2	実施大学のみ(2010年度)
神戸学院大学	社会貢献実習Ⅰ	2	実施大学のみ(2010年度)
	社会貢献実習Ⅱ	2	共通実習(2020年度)
	社会貢献実習Ⅲ	2	実施大学のみ(2010年度)
	救命処置演習	2	実施大学のみ(2010年度)
	防災実習Ⅱ	2	実施大学のみ(2010年度)
	防災実習Ⅲ	2	実施大学のみ(2010年度)
	国内実習	2	共通実習(2022年度)
	海外実習Ⅰ	2	実施大学のみ(2010年度)
	海外実習Ⅱ	2	実施大学のみ(2010年度)

社会貢献活動支援士課程に関連する科目について、履修単位の算入に関しては以下の表に従う。したがって、他大学配信科目については、基本的に2009年度以降入学の建築系学科、2011年度以降の建築学部の学生を対象として、自由枠に算入される。本学配信科目については、通常の本学実施科目となるため、履修単位の算入条件については、対象となる学部・学科の学生便覧の内容に従う。

時間割と授業時間については、3大学連携授業では、各大学の授業開始時間が異なるため、各講義の配信校の時間割に沿って講義を行う。ただし、3大学で実施する「社会貢献学入門」は、特別時間割で実施する。

表 単位算入について

学部・学科	工学院大学 配信科目	他大学配信科目
工学部建築系学科 (2009年度以降入学生)	学科の学生便覧に従う	自由枠に算入できる
建築学部 (2011年度以降入学生)	学部の学生便覧に従う	自由枠に算入できる
上記学部・学科以外	学部・学科の学生便覧に従う	単位に算入されない

カリキュラム

社会貢献学入門（3大学共通・必修）2単位（1科目）

自身の大学が提供する連携共同科目を4単位（2科目）以上、
他2大学が提供する連携共同科目を各4単位（2科目）
（計8単位（4科目））以上選択

東北福祉大学

地域減災論/実践的防
災学
ボランティア活動論
福祉ボランティア活
動Ⅰ～Ⅳ

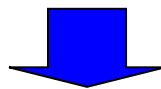
工学院大学

地震・複合災害工学
地域の安全
建築の安全
災害復興論
地域住環境計画
構造材料施工

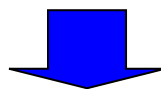
神戸学院大学

地球環境論/環境政策
ビジネス論
社会防災特別講義Ⅳ
火災研究/減災学
社会貢献実習Ⅱ
国内実習

共通実習科目あるいは各大学で開講される実習・演習から4単位
（2科目）以上選択



「社会貢献活動支援士」認定試験



「社会貢献活動支援士」

図 社会貢献活動支援士課程における科目構成について

(3) 本学で履修可能な科目について

社会貢献活動支援士課程に関する科目について、本学で2020年度に受講可能な科目を以下に示す。科目の実施キャンパスについては、基本的に対象となる学年でのキャンパスで実施を予定しているが、他の授業や履修登録の状況などにより異なる可能性がある。このため、詳細についてはガイダンスで説明するので、履修予定者は必ず参加すること。

必修科目（遠隔システム・オンデマンドにより実施）

提供大学	科目名（単位数）	備考
3大学共同	社会貢献学入門（2）	

連携共同科目（遠隔システム・オンデマンドにより実施）

提供大学	科目名（単位数）	備考
東北福祉大学	ボランティア活動論（2）	
工学院大学	地域住環境計画（2） 構造材料施工（2） 建築の安全（2） 地震・複合災害工学（2） 災害復興論（2） 地域の安全（2）	
神戸学院大学	社会防災特別講義Ⅳ（2） 地球環境論／環境政策ビジネス論（2）	

集中講義科目（各大学で夏期・冬期、数日間に期間を集中して実施）

提供大学	科目名（単位数）	備考
東北福祉大学	地域減災論/実践的防災学（2）	
神戸学院大学	社会貢献実習Ⅱ 国内実習	

実習・演習科目（提供大学で実施）

提供大学	科目名（単位数）	備考
東北福祉大学	福祉ボランティア活動Ⅰ（2）* 福祉ボランティア活動Ⅱ（2）* 福祉ボランティア活動Ⅲ（2）* 福祉ボランティア活動Ⅳ（2）*	
工学院大学	建築情報処理Ⅱ（2）	

社会貢献活動支援士の資格取得に関する科目
(工学部・情報学部・グローバルエンジニア学部・建築学部)

2009年(平成21年)度入学生から適用
 他大学提供科目の修得単位は、工学部建築系学科、建築学部の学生のみ自由枠に算入される。

必・ 選別	授業科目			標準履修学年と毎週授業時限数 (コマ数)												備考	
	科目名	大学	単 位 数	1年			2年			3年			4年				
				前	後	集中	前	後	集中	前	後	集中	前	後	集中		
必修 科目	社会貢献学入門	工学院大学	2	1													3大学共同提供科目
選択 科目	福祉ボランティア活動Ⅰ*	東北福祉大学	2	1													共通実習科目
	ボランティア論	東北福祉大学	2		1												
	ボランティア活動論	東北福祉大学	2				1										
	減災・予防福祉演習Ⅰ*	東北福祉大学	2	1													実施大学のみ
	社会調査法	東北福祉大学	2				1										実施大学のみ
	NPO論	東北福祉大学	2				1										
	ボランティア論Ⅰ	神戸学院大学	2		1												実施大学のみ
	社会貢献実習Ⅰ*	神戸学院大学	2	2													実施大学のみ
	社会貢献実習Ⅱ*	神戸学院大学	2						2								夏期と冬期の集中 講義2回
	救命処置実習	神戸学院大学	2	2													実施大学のみ
	防災実習Ⅱ*	神戸学院大学	2		2												実施大学のみ
	防災行政学	神戸学院大学	2				1										
	災害分析の基礎	神戸学院大学	2							1							実施大学のみ
	社会防災の基礎Ⅰ	神戸学院大学	2	1													
	国際協力論Ⅰ*	神戸学院大学	2		1												
	地球環境論/環境政策ビジ ネス論	神戸学院大学	2				1										
	社会防災特別講義Ⅳ*	神戸学院大学	2				1										
	地域減災論*	東北福祉大学	2						1								夏期集中講義
	火災研究/減災学	神戸学院大学	2								1						
	福祉ボランティア活動Ⅱ*	東北福祉大学	2				1										共通実習科目
	減災・予防福祉演習Ⅱ*	東北福祉大学	2				1										実施大学のみ
	環境福祉論	東北福祉大学	2				1										実施大学のみ
	救急処置法	東北福祉大学	2					1									実施大学のみ
	防災実習Ⅲ*	神戸学院大学	2				2										実施大学のみ
	社会貢献実習Ⅲ*	神戸学院大学	2				2										実施大学のみ
	国内実習	神戸学院大学	2									1					夏期集中講義
	海外実習Ⅱ*	神戸学院大学	2						1								実施大学のみ
	地域減災論/実践的防災学	東北福祉大学	2								1						夏期集中講義
	建築情報処理Ⅱ*	工学院大学	2								2						実施大学のみ
	地域住環境計画	工学院大学	2							1							
構造材料施工	工学院大学	2							1								
建築の安全	工学院大学	2								1							
地震・複合災害工学	工学院大学	2							1								
地域の安全	工学院大学	2							1								

必・選別	授業科目			標準履修学年と毎週授業時限数 (コマ数)												備考	
	科目名	大学	単位数	1年			2年			3年			4年				
				前	後	集中	前	後	集中	前	後	集中	前	後	集中		
	減災・予防福祉演習Ⅲ*	東北福祉大学	2							1							実施大学のみ
	福祉ボランティア活動Ⅲ*	東北福祉大学	2							1							共通実習科目
	災害復興論	工学院大学	2							1							
	福祉ボランティア活動Ⅳ*	東北福祉大学	2										1				共通実習科目

*Ⅰ、Ⅱのように連続する科目については、基本的に順番どおりに履修する必要はない。しかし、シラバスに「〇〇Ⅰを履修していること」などの条件がある場合はそれに従う。

太字は工学院大学で2024年度に受講できる科目